

令和7年度 世田谷区立池之上小学校 学校関係者評価委員会からの提言(学校関係者評価委員会報告書)

本年度、本委員会は学校関係者評価の結果に基づき、保護者、児童、地域の3者の分析結果について池之上小学校へ提言します。
【学校関係者評価委員会】 ◎委員長
 ◎松尾 弘：元同窓会会長
 馬場 浩彰：元保護者
 森 奈弓：青少年委員
 都崎 裕子：学校協議会委員
 飯田 紀子：池之上青少年交流センター長

◆ 調査の概要 ◆

1. 実施日
 ① 児童 令和7年11月7日から11月20日
 ② 保護者 令和7年11月7日から11月20日
 ③ 地域 令和7年11月7日から11月20日
2. 実施・回収の方法
 ① 児童 教室で実施(WEBにて回答)
 ② 保護者 すぐるでのデータ配信、WEBにて回答回収
 ③ 地域 学校関係者の方々へ配布し、回収
3. 回収率(%) 下表

① 保護者

| | 全体 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|----|------|------|-------|------|------|------|------|
| R7 | 83.6 | 86.7 | 100.0 | 87.1 | 83.1 | 73.2 | 66.7 |
| R6 | 75.3 | 88.1 | 84.5 | 77.2 | 81.1 | 68.6 | 67.3 |

② 地域

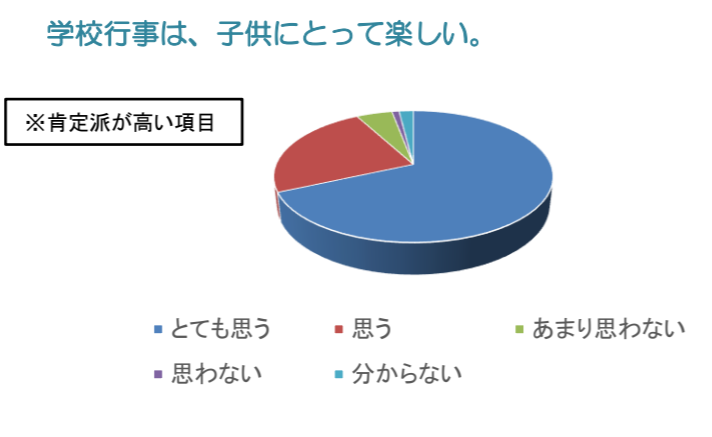
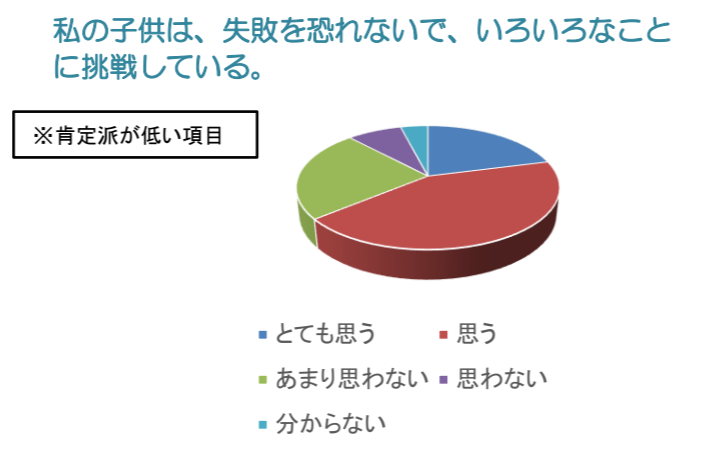
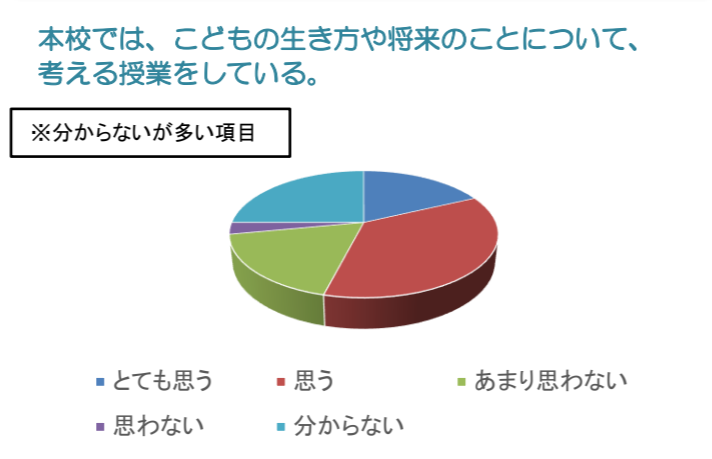
| | 全体 |
|----|------|
| R7 | 51.5 |
| R6 | 67.1 |

4. 結果概要の捉え方
- 肯定派 「A、とても思う」「B、思う」の合計(%)
 - 満足度が非常に高い 肯定率が80%以上
 - 満足度が低い 肯定率が65%未満の項目
 - 周知徹底の必要あり 「E、わからない」が15%以上の項目

評価アンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。
 全体的傾向から見ると
 保護者の満足度が非常に高いは42設問中24項目(昨年度22項目)、
 児童の満足度が非常に高いは30設問中20項目(昨年度13項目)、
 地域の満足度が非常に高いは19設問中10項目(昨年度9項目)

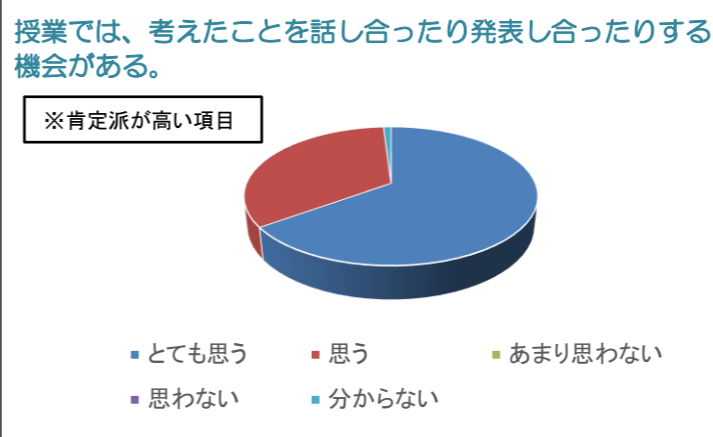
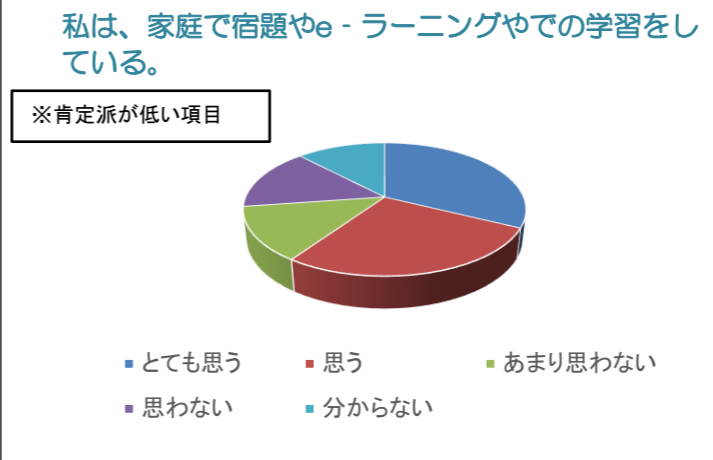
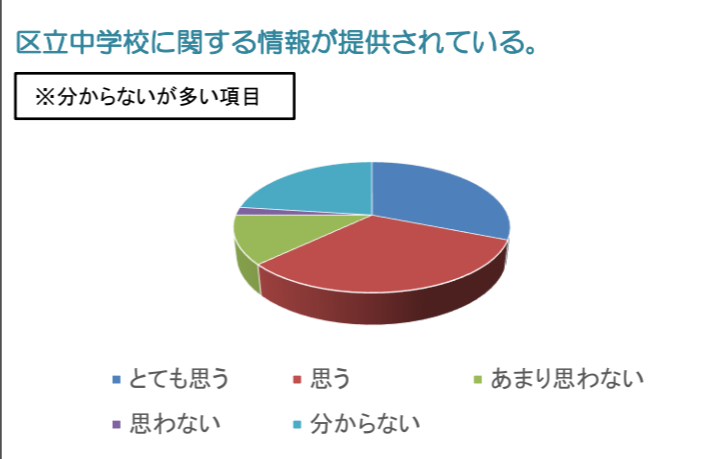
結果概要からの全体考察や提言
 保護者の方からの回収率は、昨年度より8.3%高くなり、8割以上の保護者の方にご回答いただきました。一昨年度、昨年度に続き、保護者はwebでの回答であったが、回答方法が浸透したことや、周知の工夫をしたことで、回収率を上げてくることができたと感じている。来年度以降も、保護者への周知方法を工夫し、多くの保護者に回答していただき、学校運営に回答を生かしていきたい。また、地域の方からの回収率が下がってしまったので、地域の方にも本校の様子を今まで以上に発信していきたい。
 今年度も、学校公開や行事など、保護者や地域の方々にも多数来校いただくことができた。地域の皆様に児童の様子を直接見ていただく機会もコロナ禍以前と同様に近いところまで戻すことができた。学校公開も年間10日実施することができた。また、おたよりやHP学校日記の更新もすることで、保護者や地域の皆様に児童の様子が伝わるようにした。
 今回の学校関係者評価の結果をもとに、次年度もよりよい池之上小学校の教育ができるように職員一丸となって努力していく。
<提言>
 ○保護者の評価アンケートが8割の回収率になったことで、学校への様々な意見を聞くことができたと感じる。周知の方法を工夫することで、回収率をさらに上げることができると考える。
 ○児童アンケートの結果が、昨年度より肯定的な意見がアップしている。子供たちの自己肯定感も上がっているのではないかと感じる。
 ○「わからない」という回答を減らすために、アンケートと一緒に、学校の考え方や取組についての説明を配布してはどうだろうか。また、学校の様子についてホームページなどで今後も発信してほしい。

保護者アンケートの結果より



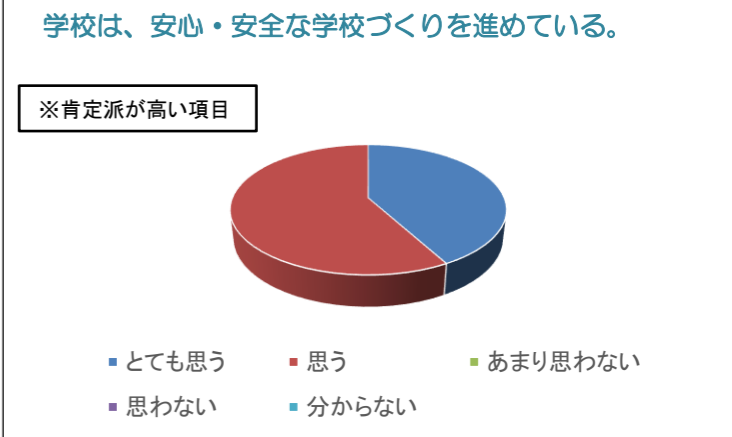
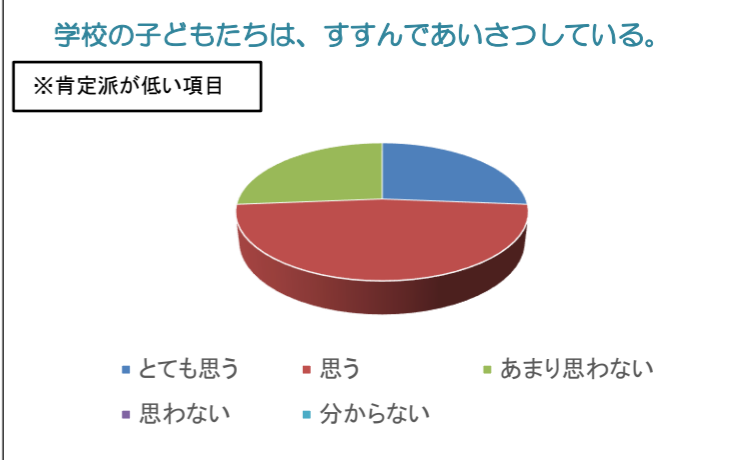
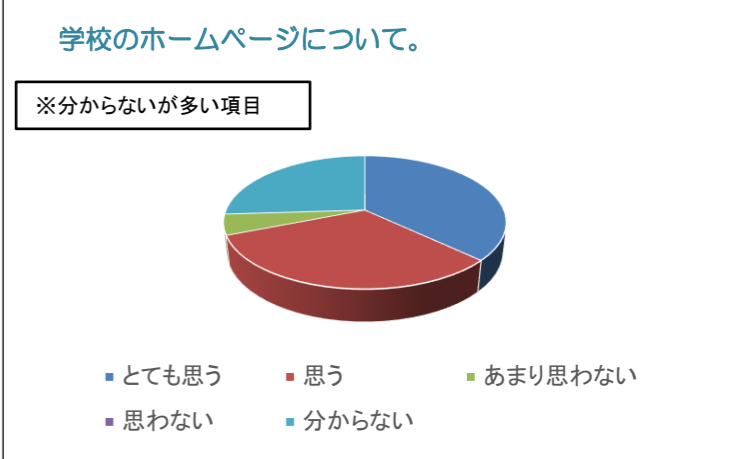
◆小学校でのキャリア教育の考え方
 本校では、他者、社会、自然、環境等の中での体験的な活動を重視し、自分と向き合い、他者に共感することや社会の一員である個人の能力、発達の特性等の多様性を理解し、規範意識を育み、自らのよさに気付き、自分の生き方や将来に夢がもてる「キャリア・未来デザイン教育」を推進し、各学年の発達段階に応じた育ちで捉えている。また、他の学年様々な年齢の子どもたちとかかわったり、保育園、幼稚園や他の小学校、中学校、特別支援学校などの子どもたちとかかわったりすることを重要視していく。
 ◆池之上の保護者の願い
 保護者は、子供たちにもっと様々なことに挑戦してほしいと感じていることが「私の子供は、失敗を恐れなくていろいろなことに挑戦している。」の肯定派が低い結果から分かる。また、「学校行事は、子供にとって楽しい。」の肯定的評価が95%と高い評価を得ていることから、学校行事等で様々な経験をさせることで、子供たちの意欲をさらに高めていきたい。
<提言>
 ○キャリア教育については、上の学年がやっていることを、保護者にも、子どもたちにも分かるように伝えていくことで、学校全体として、6年間を通してのキャリア教育について理解していただけると感じる。
 ○来年度の展覧会などの行事を通して、子供たちの楽しいという思いをさらに高めていってほしい。

児童アンケートの結果より



◆「せたがや探究的な学び」の実感
 自ら考えたり、話し合ったり、発表したりする機会が授業の中でとられていることが、伺える。この機会を「よい」と捉え、子どもたちが探究的な学びのスタイルを身に付けることができるようにしていきたい。
 ◆児童の実態
 家庭学習の時間について、塾などもあるのか、子どもたちの中で「できている」という時間が少ない。家庭学習も大切に、学習する習慣を身に付けさせたい。
 ◆区立中学校の情報については、学び舎での交流も含め、さらに深めていきたい。
<提言>
 ○子供たちは、地域の風あげ大会など行事に参加しているのだが、さらに、子供たちが関心をもつような情報が必要なのではないだろうか。地域に関する情報の発信を進めてほしい。
 ○友達との関係など、研究のテーマである「人権」について、先生方が授業を工夫していることもあり、子供たちに浸透してきているように感じる。そうしたところが、全体として、学校生活に意欲的に取り組むことができることにつながっていると感じる。

地域アンケートの結果より



◆地域との連携
 ホームページや掲示板など、さらに情報発信の方法を工夫していきたい。
 ◆地域の方々の思い
 「子どもたちのあいさつ」は、学び舎合同挨拶運動などを通して、子どもたちの気持ちを高めていきたい。挨拶をととして、地域の皆様と連携していく。
 ◆学校の安心・安全
 本校の安全については、一定の評価をいただいた。今後も、安全・安心な学校づくりを進めていく。
<提言>
 ○地域にはご高齢の方も多く、学校のHPはなかなか見ないのではないかと。町会の掲示板等を活用することはできないか。また、商店街の中のお店に学校の情報を掲示してもらうなどもぜひ検討してほしい。
 ○子供たちのあいさつについては、今後も挨拶運動等を通して、明るい挨拶ができるよう指導を続けてほしい。